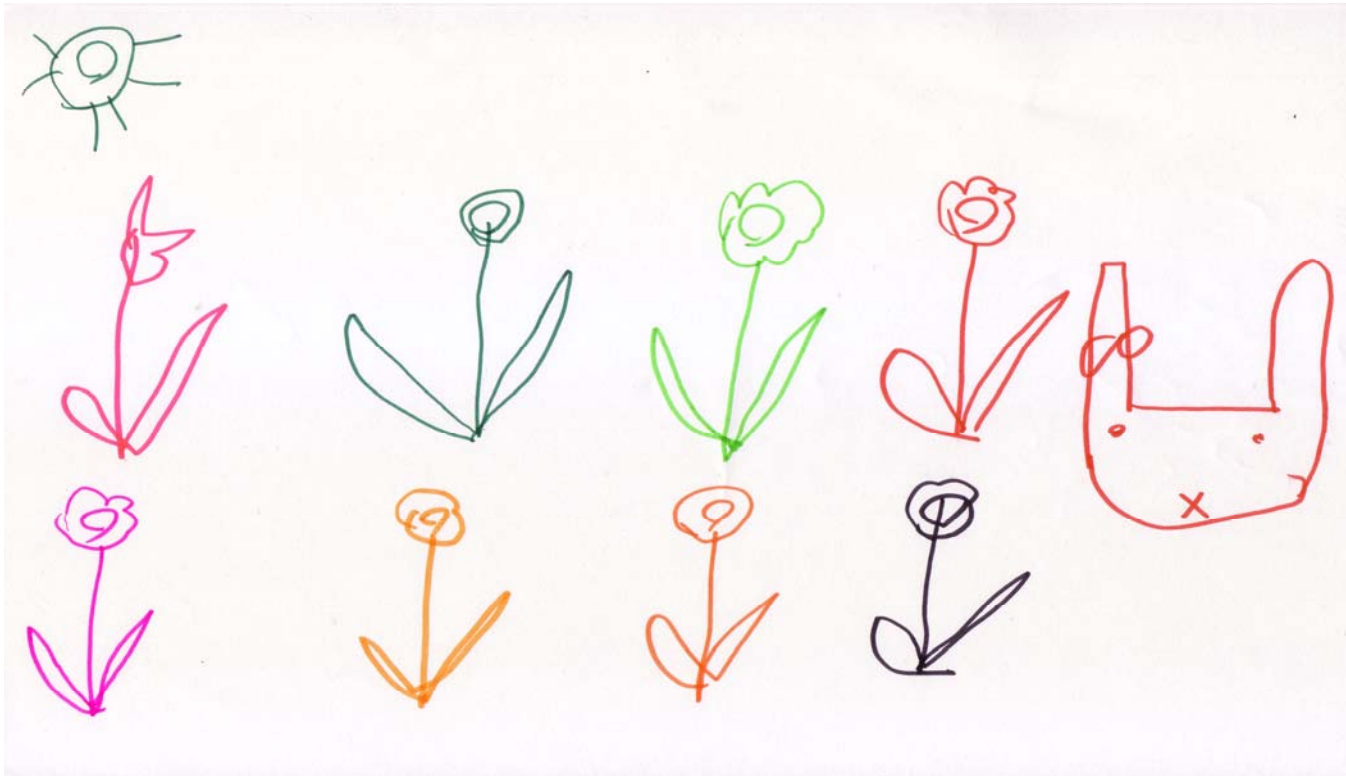


だいじ すだ みなこ
題字：須田 美奈子



え なかの みお
絵：中野 美緒

〒214-0012 川崎市多摩区中野島 4-3-28 電話：044 (911) 1315 FAX：044 (911) 0462

発行元 社会福祉法人なごみ福祉会 多摩川あゆ工房 発行責任者 飯島克巳

ホームページ： <http://www.nagomi-fukushi.or.jp/ayu-kobo/> メール： ayu-kobo@giga.ocn.ne.jp

施設長から

激しい揺れのあと、しばらくしてようやくテレビのスイッチを入れました。しかしそこに映し出された光景はとても現実とは思えない恐ろしいものでした。あの日から1ヶ月、東北の被災地では多くの方々が被災所で生活され、余震もくり返し起きています。犠牲となった方々に謹んでお見舞いを申し上げます。

多摩川あゆ工房では、地震の翌日に電車が止まったため、約20名の利用者の方が通所できなかったこと以外には普段の活動に変化はありませんでした。しかし、今回の経験を何らかの形で防災体制の中に役立てていかねばならないと思っています。

そして、今年もやや遅いながら桜の季節を迎え、新しい利用者の方を迎え、新しい方針のもとで今年度の活動が始まっています。

【法人の新しい方針】

新しく多摩川あゆ工房の利用者となった方や新しい職員、異動して来た職員については他のところでご紹介するとして、まずは法人の新しい方針の説明から。

①昨年、なごみ福祉会では、従来中野島地域と長沢地域とで実施していた障害福祉事業を、今後、中野島地域と長沢地域に分けて、それぞれにおいて、日中の活動及び生活支援の活動を実施するとの方針決定がなされました。

②その方針に基づき、従来は多摩川あゆ工房の分場であった「ワークショップあゆ」と「ぼぱい」は長沢地区の活動に所属する『夢花工房』として、独立の通所施設として活動することになりました。

③それに伴い、中野島の多摩川あゆ工房は約10年ぶりに単独施設に戻っています。今後は中野島を中心とした地域の日中活動としての新たな活動、また生活支援のための新たな活動の拠点として新しいスタートを切ることになりました。

【今年度の中心活動】

1. 障害の重い利用者の活動プログラムの試行錯誤をします。
従来にあゆ工房は午前中は一律作業に従事し、午後、それぞれの希望や状態に応じて作業外活動を実施するプログラムでしたが、午前においても作業に限定することなく積極的に取り組める活動を工夫していきます。
2. 清掃作業班を創設し、地域生活が可能な工賃を稼ぐことを目的とします。
あゆ工房の清掃作業班できちんと仕事をすれば、生活保護ではなく、年金と工賃でホームの生活ができるような工賃が受けられる、そんな活動を作っていきます。すでに五月台にある川崎市北部地域療育センターで2名の利用者が清掃活動をしています。当面の目標は月5万円の工賃支給です。

3. 相談支援体制を充実させて、生活支援のニーズ把握に努めるとともに、新たな生活支援サービスの創設を試行錯誤します。
3月に生活支援センターいろはにこんぺいとうは従来のぽぱい3Fから生田駅前に移転しました。交通の便が良いところで、より広く相談を受けられるようにするためです。余暇の過ごし方、ホームのことなどなどについて幅広く相談員が対応します。従来はそれらの相談を受けて、他の対応する事業所をご紹介するだけでしたが、今後は多摩川あゆ工房と連携し、サービスを作っていく活動を試行錯誤します。

以上の件については6月に開催予定の第1回保護者会で職員紹介とともにあらためてご報告する予定です。

なお、先日は、義援金のご協力ありがとうございました。利用者、ご家族、職員からの義援金及び3月販売会の収益金、総額192,885円を4月15日に神奈川県知的障害施設団体連合会と全国社会就労センター協議会へ振り込みます。

また、多摩川あゆ工房では、施設で備蓄している防災用の水30箱を関東社会就労センター協議会を通して被災地域に送っています。

今後ともご協力をお願いすると思っておりますが、よろしくお願ひします。

ぶんせき しせつちやう いいじまかつみ
文責 施設長 飯島克巳

清掃班紹介

清掃班は、今年度から出来た新しい班です。

職員は、小俣敏明と千頭聡一郎の二名です。利用者は、現在二名です。

清掃現場は、川崎市北部療育センターで日常清掃を行っています。清掃の内容は、部屋の掃除機

かけや、ロビーと廊下のダスターモップがけ、トイレの床のモップがけ、便器を磨いたり、トイレ

ットペーパーやハンドペーパーを補充したりします。その他には、一ヶ月に一回、部屋や廊下など

にワックスがけをします。現在、今年度の清掃現場は川崎市北部療育センターと、わーくす中原の

二つですが、これから増やしていく予定です。

初めてのことで慣れてない部分もありますが、頑張っていけますのでよろしくお願ひします。

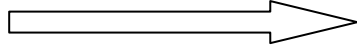
ぶんせき ちかみ そういちろう
文責 千頭 聡一郎

異動した職員の紹介

あゆ工房から異動した職員、あゆ工房へ異動した職員の紹介です。

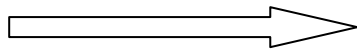
文責 傳

ひろはま さとし
廣浜 知さん



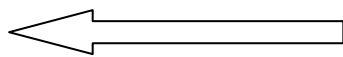
しゃかいふくしほうじん ふくしかい ゆめはなこうぼう
社会福祉法人なごみ福祉会 夢花工房 へ

おざき たけひさ
尾崎 雄久さん



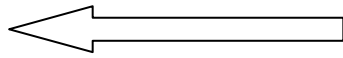
せいかつしえん
生活支援センター いろはにこんぺいとう へ

すずき ともひろ
鈴木 智浩さん



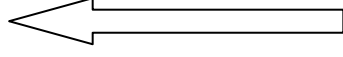
せいかつしえん
生活支援センター いろはにこんぺいとう から

ちかみ そういちろう
千頭 聡一朗さん



だいにぶんじょう
第二分場 ぼぱい から

おまた としあき
小俣 敏明さん



だいにぶんじょう
第二分場 ぼぱい から

退職した職員から

たいしよく
退職にあたって

おの でらまさひろ
小野寺政博

待ちに待った定年退職の日を無事に迎えることができました。40年余を仕事に打ち込んできましたが、そのうちの7年間をあゆ工房とともに歩みました。

私の人生から見るとほんの短い間でしたが、たくさんの方が凝縮された7年でした。私の人生そのもののように感じます。

あゆまつりやつばめの会など過去には経験したこともないこともたくさん経験しましたが、それもあゆ工房にかかわるすべてのみなさんに助けられ、何とかやってこれたという思いでいっぱいです。本当にありがとうございました。心から感謝いたします。

4月からあゆ工房は、新しい組織となって再出発することになりますが、今まで以上に利用者さんのみんなが穏やかに落ち着いて過ごせるあゆ工房であってほしいと切望します。

心から「明日もあゆ工房で仕事がしたい」と思えるようなあゆ工房が遠い未来まで続いてほしいと思います。

そして、「みなさん、どこかできっとまた会いましょう。

その時まで・・・さようなら！！」

☆お世話になっているボランティアさん☆

ひごろ こうぼう さぎょう かつどう きょうりょく
 日頃からあゆ工房の作業・活動にご協力いただき、ありがとうございます。
 しんねんど ねが
 新年度もよろしく願いいたします。

こばやしよしと さいとうただし さかい さいとうあき
 小林芳人さん 斎藤正さん 酒井レイさん 斉藤睿さん

やまぐちすみこ やまだゆきこ いわみしろう かとうゆうき
 山口澄子さん 山田幸子さん 岩見史郎さん 新加藤夕貴さん

いつでも歓迎

ボランティアさん大募集



じゆんふどう
 (順不同)

ひと いっしょ
 ハンデをもった人たちと一緒に、クッキー
 やパウンド・ケーキを作ったり、軽作業の補助を
 していただくなどの内容です。

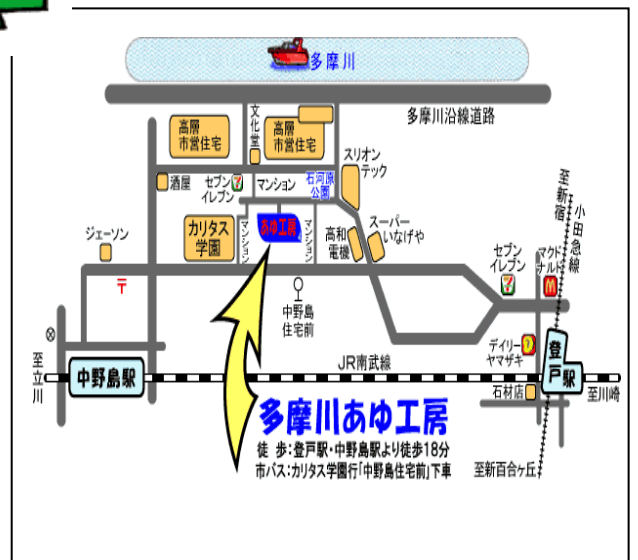
きがる と あ くだ
 お気軽にお問い合わせ下さい。

と あ さき
お問い合わせ先

しゃかいふくしほうじん ふくしかい たまがわ こうぼう
 社会福祉法人なごみ福祉会 多摩川あゆ工房
 かわさきしたまくなかのしま

〒214-0012川崎市多摩区中野島4-3-28
 TEL:044-911-1315 FAX:044-911-0462URL
<http://www.nagomi-fukushi.or.jp/ayu-kobo/>
 E-mail ayu-kobo@giga.ocn.ne.jp

たんとう すずき
 担当:鈴木まで



★編集後記★

にほん しょうらい おお か だいしんさい げんぱつじ こ かげつ ふくしまけん し
 日本の将来を大きく変えてしまった大震災(と原発事故)から 1ヶ月がたちました。福島県のいわき市で4
 ねんかんがくせいじだい す じぶん はや げんぱつもんだい かいけつ ねが ふくしまけんはまとお
 年間学生時代を過ごした自分としては、早く原発問題が解決してほしいと願うばかりです。福島県浜通り
 す ひと だい げんぱつ はたら ひと むり がんば おも
 に住んでいる人、第1原発で働いている人には、無理しないで頑張してほしいと思います・・・。

ぎえんきん きょうりょく みなさま
 義援金にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

うかい
 (鵜飼)

さむ ふゆ お ことし たまがわ さくら さ こんしゅう
 寒い冬も終わり、今年も多摩川はきれいに桜が咲いています。今週はウォーキングをしながら
 はなみ りょうしゃ うれ
 お花見をすることができました。利用者さんも「きれいね～」と嬉しそうでした。

や がし しんしょうひん かいはつ くら きゃくさま えがお た
 焼き菓子では新商品の開発をしています。暗いニュースばかりですが、お客様が笑顔で食べて
 くださるような焼き菓子をみんなで作っていきます。

でん
 (傳)